令和２年度　第１回岐阜県職業能力開発施設運営改革検討会
国際たくみアカデミー部会議事要旨

１　開催日時及び場所
令和２年１０月３０日（金）１３時３０分～１５時０５分
国際たくみアカデミー短大校　会議室

２　出席者
中谷誠次座長、古田一衛委員、金森薫委員、川島吉博委員、板頭芳樹委員、宮川勉委員、大江隆宗委員、三輪武委員、伏見圭太委員、林博行委員、大澤満委員

３　事務局
商工労働部次長、労働雇用課人材育成係長、国際たくみアカデミー校長、国際たくみアカデミー管理部長、国際たくみアカデミー指導部長兼建築科長、国際たくみアカデミー教務・開発援助課長、国際たくみアカデミー生産技術科技術課長補佐、国際たくみアカデミー担当主幹兼訓練第一課長、国際たくみアカデミー訓練第二課長

４　会議の概要
・あいさつ
・施設内学生・生徒見学
・資料説明
・意見交換

５　主な意見
〇教育内容について
・外国人留学生について日本語の能力が高いか低いかによって、仕事を覚える幅が変わってくる。国際たくみアカデミーでも日本語を教育する機会を作ると良い。
・基礎的なスキルとして、学生への Excel と Word の教育も取り組むと良い。

〇女子学生について
・初めて生産技術科に女性が入学しており、今後、技術系に女性の進出が期待できると思う。
・女性の活躍という面では、企業のニーズがあり、また期待されている。

〇イベントについて
・親子ものづくり体験教室は、学生募集のきっかけになる。

・文化祭のような、来て面白そうなイベントを開催して、PR の場とすることを考えると良い。

〇高大連携授業について

・たくみアカデミーのものづくり講座は、高校生がものづくりに興味を持つきっかけになっており PR につながる。

〇パンフレットについて

・パンフレットは学生に見やすい方が良い。今年度のパンフレットは以前より明るくなって良いと思う。

〇卒業生と語る会（高校行事）の学生の派遣について

・学生が母校において講演すると PR となる。高校等とも良い関係が築けるので積極的に派遣すると良い。